

# スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

## 浮羽中学校学校通信

第28号（10月28日発行）

文責 校長 高倉 満

期末考査・部活動・受験勉強・・・ すべきことはたくさんある！  
今すぐやりなさい 自分自身でやりなさい 最善を尽くしなさい

□「雨だれ石をうがつ」という言葉があります。軒下から落ちる細かい、弱い雨だれでも、長い間同じ所に落ち続けられれば、ついには硬い石に穴をかけることができるということなのです。つまり、小さな力でも、それに打ち込んで努力すれば、どんな困難な壁でも突破できるというわけです。「雨だれ石をうがつ」という言葉は、努力ということの偉大さを讃えています。つまり、自分に向かって自分はどれだけ努力をしたか、頑張ったかを問い続ける人であれば、その人は必ずよい結果が得られるという意味だと思えます。学習でも運動でも、芸能の世界でも、結果はすべて努力次第ではないでしょうか。あの発明王エジソンも「成功とは結果で量るべきではなく、それに費やした努力の総計で量るべきである。」と言っています。また、「天才とは1%の靈感と99%の汗のこたである。」とも言っています。このように、人間の偉業には必ず偉大な努力が伴っています。でも、最近どうかすると結果にばかりとらわれすぎて、努力が忘れられていることがないでしょうか。例えば部活の試合の結果で「勝つ」ということは大切ですが、「勝つ」という結果がどのようにして生まれたのか、そこに至るまでの過程で、どれだけ頑張ったのかという努力の問いかけが大切だと思えます。「栄光の陰に涙あり」という言葉もあります。涙あってこそ、努力があってこそ、栄光という結果が輝くのだと思います。最後に努力について、言葉を紹介します。「今すぐやりなさい（今やらなくていつやる）。自分自身でやりなさい（自分がやらなくて誰がやる）。最善を尽くしなさい（中途半端で何が出来る）。」という言葉です。これは「今日できることは明日に延ばさないで、今すぐやりなさい。自分でやるべきことは人に頼らず自分でやりなさい。いい加減にやるのではなく、最善を尽くしてやり遂げなさい。」ということだと思えます。3年生は進路実現に向けて、1・2年生は充実した学校生活や、部活動での新チームづくりに向けて、納得のいく「努力」を積み上げていきましょう。

### 11月は読書週間！！ 11月2日（月）～30日（月）

□図書館でも、みんなが楽しめる取組を企画しています。また文化委員会も「クイズパイオニア」も開催します。たくさん読書を楽しんでください。

～子どもの思考や感情を豊かに～

子どもの成長には、特に読書がキーワードになると言われています。本の読むことによって、子どもの内にある「言葉」が育つからです。私たちは言葉を積み上げて考えます。言葉を通して感じます。例えば「肌寒い」という言葉で、感覚と輪郭が与えられます。さらに、本を読むことは子どもの語彙を増やしていきます。子どもの思考や感情を豊かにします。読書を通して得られるものは、新しい知識や視野、考える力、判断する力から、悩んでいる・迷っているときに背中を押してくれるものまで様々です。本を読むことで興味や関心の幅が広がり新しい世界への知的好奇心も高まります



読書週間

#### 福岡県新人陸上大会

□優勝 おめでとう！1年男子 1500m 4分30秒42

今村 仁君

#### □筑後地区駅伝大会

男子 8位 女子 31位

□区間賞 1区(4.01Km)3年 中村優太君(区間記録タイ)12分19秒

区間賞 4区(3.06Km)1年 今村 仁君 10分00秒

男子は1区中村君が先頭集団を引っ張り区間記録タイの見事な走りでもってトップで襷を渡す。その後も各区間で一人一人が粘り強い走りを見せてくれました。全員が最後まで自分の走りをしてくれたと思います。本当にお疲れ様でした。

